



フロントサラウンドシステム

ESB-1090

取扱説明書

本機を安全に正しくご使用いただくため、ご使用前に「ESB-1090 安全上のご注意」とあわせて必ずよくお読みください。

目次

お知らせ	3
商標などに関するお知らせ	3
本書の記載内容に関するお知らせ	4
付属品	4
各部の名称	5
天面 / 前面	5
背面	6
リモコン	7
リモコンを準備する	7
リモコンの使用範囲	7
リモコンの電池を交換する	8
設置する	9
テレビ台などに設置する	9
壁に設置する	10
接続する	12
1. コンピューターや AV 機器を接続する	12
2. テレビを接続する	12
3. 外部サブウーファーを接続する	13
4. 電源コードを接続する	14

本機のモード	15
モードの種類	15
モードを設定する	16
各モードの機能	17
Conference モード	17
Hotel モード	19
Education モード	22
その他の機能	25
本機をテレビのリモコンで操作する	25
Bluetooth® 対応機器を接続する	26
設定をお買い上げ時点の状態に戻す	26
付録	27
仕様	30
主な仕様	30
対応している HDMI 映像 / 音声信号フォーマット	32
対応しているデジタル音声信号フォーマット	32

お知らせ

商標などに関するお知らせ

DOLBY AUDIO

Dolby、Dolby Audio、Pro Logic、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスリングコーポレーションの商標です。

本製品はドルビーラボラトリーズのライセンスに基づき製造しています。



DTSの特許に関しては <http://patents.dts.com> をご覧ください。
本製品は DTS, Inc. のライセンスに基づき製造しています。DTS、そのシンボルマーク、DTS とそのシンボルマークの組み合わせ、DTS Digital Surround、DTS Virtual:X は米国及びその他の国々における DTS, Inc. の登録商標又は商標です。

© DTS, Inc. All Rights Reserved.

HDMI™

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

x.v.Color



「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。

Bluetooth®

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

本書の記載内容に関するお知らせ

- 本書に記載されている記号と、その内容は次のとおりです。

 警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。
重要	製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。
お知らせ	操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 弊社では製品のソフトウェアを継続的に改善しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。
- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。

付属品



本機 (ESB-1090)



リモコン
※ リチウムコイン電池 (CR2025) はセット済みです。



電源コード



光デジタルケーブル



スペース
(2個 / 1シート)
※ 本機を壁に設置するときに使用します。



取付用テンプレート
※ 本機を壁に設置するときに使用します。



クイックスタートガイド



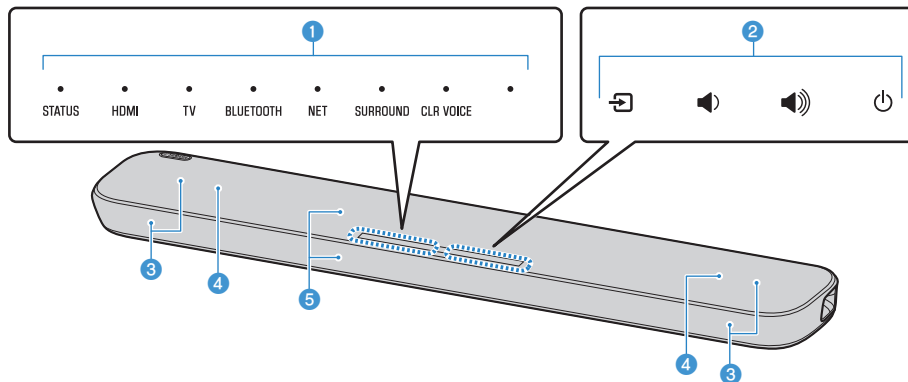
安全上のご注意



保証書

各部の名称

天面 / 前面



1 ランプ

- ・ STATUS ランプ
- ・ HDMI ランプ
- ・ TV ランプ
- ・ BLUETOOTH ランプ
- ・ NET ランプ
- ・ SURROUND ランプ
- ・ CLR VOICE ランプ
- ・ Additional ランプ

2 タッチパネル

- ・ 入力元設定ボタン
- ・ 音量 (-) ボタン
- ・ 音量 (+) ボタン
- ・ 電源ボタン

ご注意

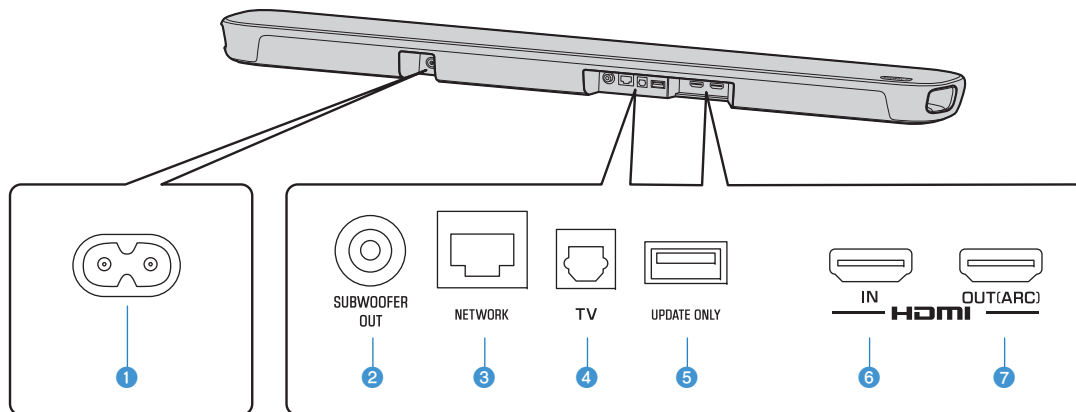
意図しない動作を防ぐため、タッチパネルの上にものを置かないでください。

3 スピーカー

4 サブウーファー

5 リモコン受光部

背面



1 AC 電源入力端子

2 SUBWOOFER OUT 端子

3 NETWORK 端子

本機をネットワークに接続するときに使用します。

ご注意

- 本機をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。經由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆回線 LAN を含む）には直接接続しないでください。
- 電磁干渉防止のためには、STP（Shielded Twisted Pair）ケーブル（シールド付きツイストペアケーブル）をお使いください。

4 TV 端子

5 UPDATE ONLY 端子

本機のファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細はファームウェアに添付される説明書をお読みください。

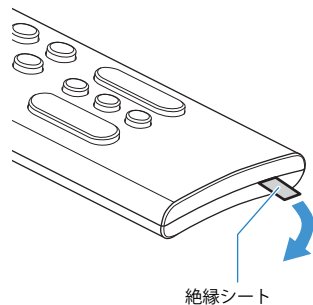
6 HDMI IN 端子

7 HDMI OUT（ARC）端子

リモコン

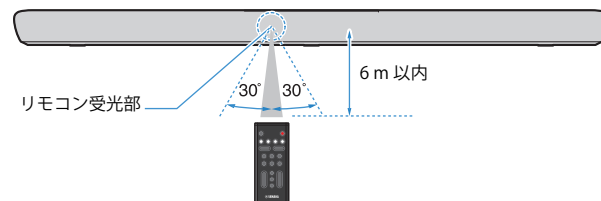
リモコンを準備する

使用する前に絶縁シートを引き抜いてください。



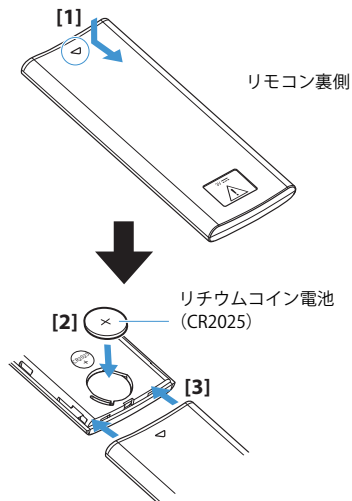
リモコンの使用範囲

図に示した範囲で使用してください。



リモコンの電池を交換する

1. リモコン裏側の▽部を押しながら、フタを矢印の方向にスライドさせて取り外す
2. 古い電池を取り出し、新しい電池を入れる
3. フタを矢印の方向にスライドさせて取り付ける



警告

- コイン / ボタン電池を飲み込まない。
- 使用済みを含む、すべてのコイン / ボタン電池を乳幼児の手の届くところに置かない。
- 電池ケースが破損したリモコンを乳幼児の手の届くところに置かない。

本製品に付属するリモコンはコイン / ボタン電池を内蔵していません。コイン / ボタン電池を飲み込んだ場合、2時間以内に深刻な化学やけどや体内組織の融解が発生し、死亡する可能性があります。万一、コイン / ボタン電池を飲み込んでしまった可能性がある場合は、すぐに医師にご相談ください。



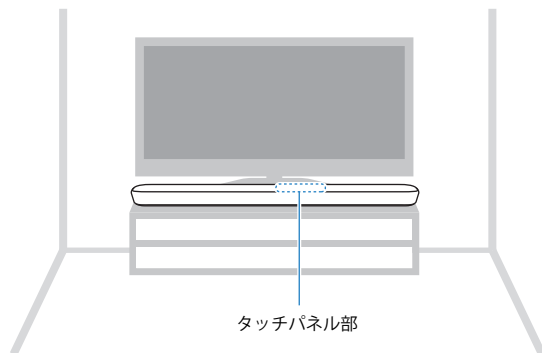
注意

- 電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しないでください。電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁してください。他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。

設置する

テレビ台などに設置する

図のように設置できます。

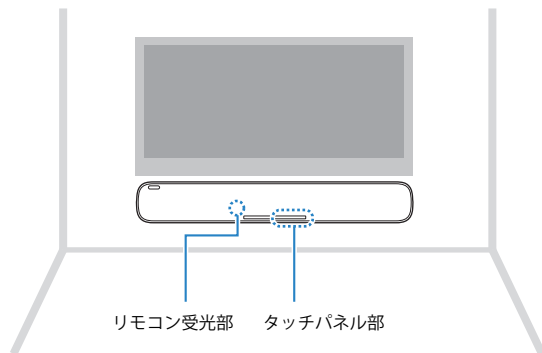


ご注意

- 本機を持つときは本機に強い力をかけないでください。スピーカーユニットや布の部分を破損するおそれがあります。
- 本機と他の機器を重ねて設置しないでください。振動によって機器が故障するおそれがあります。
- 本機は非防磁のスピーカーを搭載しています。本機の近くに磁気弱い機器 (ハードディスクドライブなど) を放置しないでください。

壁に設置する

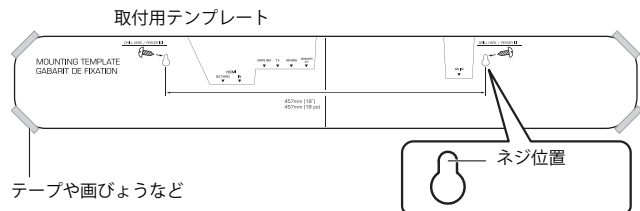
図のように設置できます。必ず 11 ページに記載の手順で設置してください。



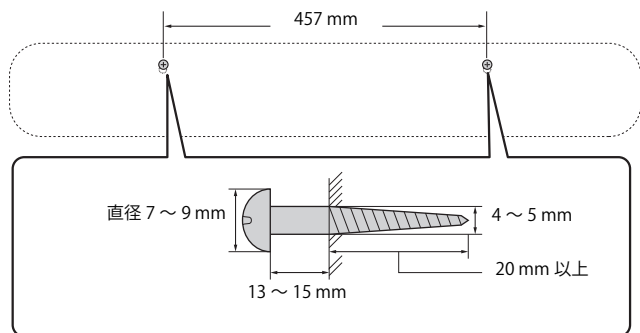
⚠ 注意

- 本機を壁に設置する場合は、必ずお買い上げの販売店または専門の施工業者に依頼してください。本機を安全に設置するには、技術と経験が必要です。
- しっくいやベニヤ板のような弱い材質の壁には設置しないでください。本機が落下する原因になります。
- 市販のネジは、規定サイズで十分な強度があるものをご用意ください。くぎや両面テープ、規定サイズ以外のネジを使用すると本機が落下し、けがの原因になります。
- ケーブル類は必ず固定してください。誤って手や足に引っ掛かると、本機が落下し、けがの原因になります。
- 本機にもたれかかったり、上から強い力をかけたりしないでください。落下の原因となります。
- 設置後、本機がしっかりと固定されていることを確認してください。誤った設置により起きた事故について、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 付属の取付用テンプレートを壁に仮付けし、ネジを取り付ける位置（2か所）に印を付ける

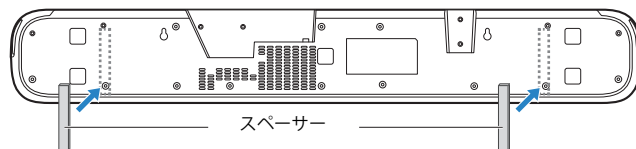


2. 取付用テンプレートを壁から取り外し、印を付けた位置に市販のネジを取り付ける

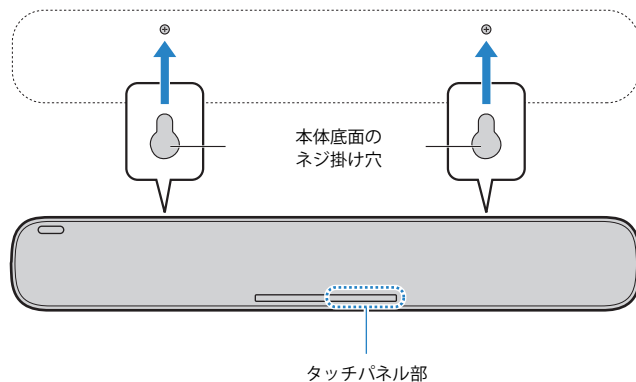


3. 付属のスペーサーを本機の底面に貼る

スペーサーから台紙をはがし、粘着部を本機の底面に押し付けてください。



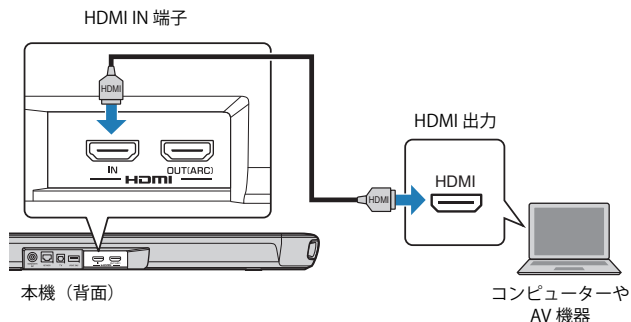
4. 取り付けたネジに本機を掛ける



接続する

1. コンピューターや AV 機器を接続する

市販の HDMI ケーブルを使用して図のように接続してください。



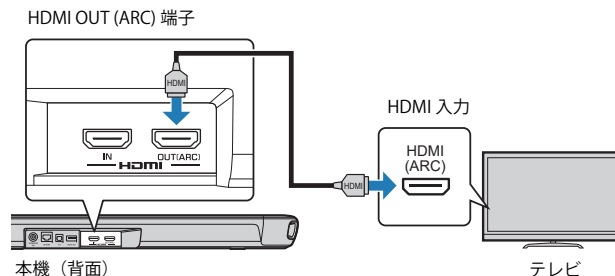
ご注意

- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル (19 ピン) を使用してください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短い HDMI ケーブルを使用してください。

2. テレビを接続する

[テレビがオーディオリターンチャンネル (ARC) に対応している場合]

市販の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して図のように接続してください。



ご注意

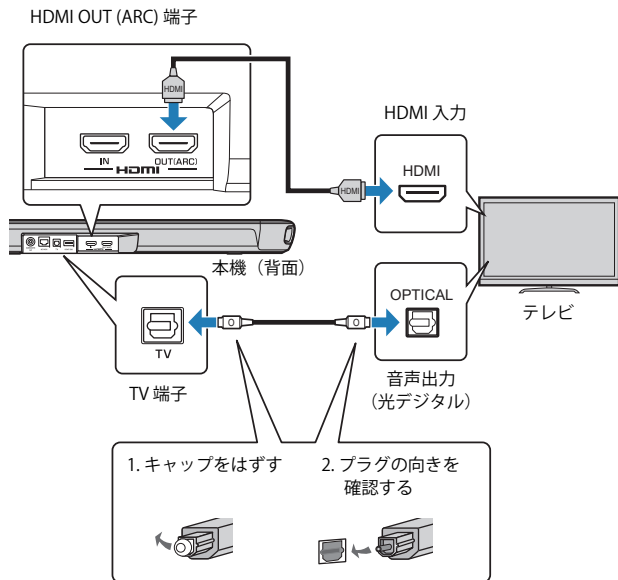
- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル (19 ピン) を使用してください。
- 信号の劣化を防ぐため、なるべく短い HDMI ケーブルを使用してください。

お知らせ

ARC 機能を使用しているときは本機の TV 端子を使用できません。

[テレビがオーディオリターンチャンネル (ARC) に対応していない場合]

市販の HDMI ケーブルと付属の光デジタルケーブルを使用して図のように接続してください。

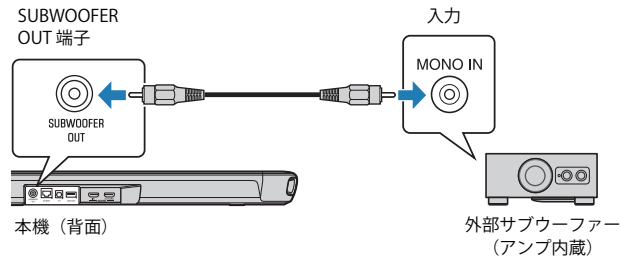


ご注意

- ・ HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル (19 ピン) を使用してください。
- ・ 信号の劣化を防ぐため、なるべく短い HDMI ケーブルを使用してください。

3. 外部サブウーファーを接続する

市販のモノラルピンケーブルを使用して図のように接続してください。

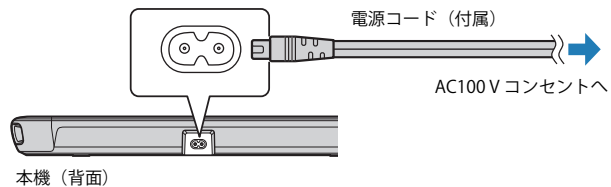


お知らせ

音声は本機の内蔵サブウーファーと外部サブウーファーの両方から出力されます。

4. 電源コードを接続する

付属の電源コードを本機に接続し、続いてプラグをコンセントに差し込んでください。



プラグをコンセントに差し込むと本機の電源がオンになります。

本機のモード

モードの種類

本機は3つのモードを搭載しています。

Conference モード：

本機を会議室に設置し、遠隔会議用のスピーカーとして使用するためのモード

Hotel モード：

本機をホテルのロビーや客室に設置し、映画や音楽の鑑賞用およびテレビ番組の視聴用のスピーカーとして使用するためのモード

Education モード：

本機を教室に設置し、音声教材再生用のスピーカーとして使用するためのモード

お知らせ

お買い上げ時点では Conference モードに設定されています。

モードを設定する

手順は次のとおりです。



1. リモコンの電源ボタンを押して本機の電源をオフにする

2. リモコンのボタンを次の順に押す

[Conference モードに設定するとき]

“INFO ボタンを 1 回” > “VOLUME (+) ボタンを 2 回” > “消音ボタンを 1 回”
> “TV ボタンを 1 回”

[Hotel モードに設定するとき]

“INFO ボタンを 1 回” > “VOLUME (+) ボタンを 2 回” > “消音ボタンを 1 回”
> “HDMI ボタンを 1 回”

[Education モードに設定するとき]

“INFO ボタンを 1 回” > “VOLUME (+) ボタンを 2 回” > “消音ボタンを 1 回”
> “BLUETOOTH ボタンを 1 回”

手順は以上です。設定が完了すると本機の電源がオンになります。

お知らせ

セットアップファイルを使用してモードを設定することもできます。詳細は「ESB-1090 インストールガイド」をお読みください。

各モードの機能

Conference モード

お知らせ

- ・常にランプが消灯状態になります（音量の調節や消音の操作をしたときは一時的に点灯 / 点滅します）。
- ・常に（HDMI 端子に接続した）コンピューターや AV 機器が音声信号の入力元に設定されます。
- ・常に再生方法がステレオ再生に設定されます。



[リモコン]

① 電源ボタン

本機の電源をオン / オフできます。
オンにすると STATUS ランプが消灯し、オフにすると赤く点灯します。

② VOLUME (+) ボタン、VOLUME (-) ボタン

スピーカーの音量を調節できます。
調節中に点灯するランプの数で音量を確認できます。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

③ 消音ボタン

スピーカーとサブウーファアの音声を消音できます。また、消音を解除できます。

消音中はランプが図のように点滅します。

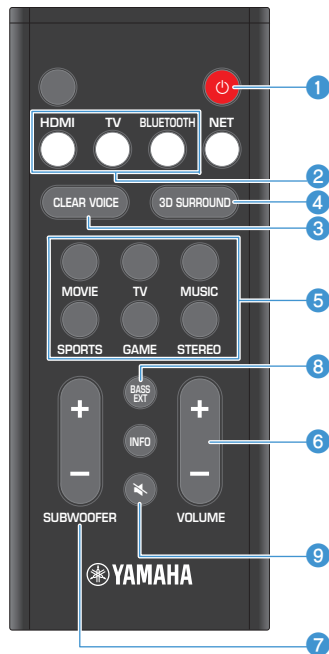


その他のボタンによる操作は無効です。

【タッチパネル】

タッチパネルのすべてのボタンによる操作は無効です。

Hotel モード



[リモコン]

① 電源ボタン

本機の電源をオン / オフできます。

オンにすると STATUS ランプが消灯し、オフにすると赤く点灯します。

② 入力元設定ボタン

- **HDMI ボタン** : (HDMI IN 端子に接続した) コンピューターや AV 機器を音声信号の入力元に設定できます。
- **TV ボタン** : テレビを音声信号の入力元に設定できます。
- **BLUETOOTH ボタン** : Bluetooth 対応機器を音声信号の入力元に設定できます。詳細は 26 ページをお読みください。

③ CLEAR VOICE ボタン

クリアボイス機能 (セリフやナレーションなど、人の声を聞き取りやすくして再生させる機能) を有効 / 無効にできます。

4 3D SURROUND ボタン

再生方法を 3D サラウンド再生に設定できます。また、3D サラウンド再生を解除し、サラウンド再生に設定できます。3D サラウンド再生中は SURROUND ランプが青く、サラウンド再生中は白く点灯します。

お知らせ

3D サラウンド再生中は音声が水平方向だけでなく垂直方向の表現を伴って再生され、音場が立体的に再現されます。

5 サラウンドプログラムボタン

- **MOVIE ボタン**： 映画の鑑賞に適した音響設定を呼び出すことができます。
- **TV ボタン**： テレビ番組の視聴に適した音響設定を呼び出すことができます。
- **MUSIC ボタン**： 音楽の鑑賞に適した音響設定を呼び出すことができます。
- **SPORTS ボタン**： スポーツの観戦に適した音響設定を呼び出すことができます。
- **GAME ボタン**： テレビゲームのプレイに適した音響設定を呼び出すことができます。
- **STEREO ボタン**： 再生方法をステレオ再生に設定できます。ステレオ再生中は SURROUND ランプが消灯します。

6 VOLUME (+) ボタン、VOLUME (-) ボタン

スピーカーの音量を調節できます。調節中に点灯するランプの数で音量を確認できます。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

7 SUBWOOFER (+) ボタン、SUBWOOFER (-) ボタン

サブウーファアの音量を調節できます。調節中に点灯するランプの種類で音量を確認できます。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

8 BASS EXT ボタン

バスエクステンション機能（低音を増強して再生させる機能）を有効/無効にできます。無効から有効になるときはランプが図のように 3 回、有効から無効になるときは 1 回点滅します。



9 消音ボタン

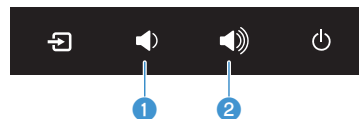
スピーカーとサブウーファーの音声を消音できます。また、消音を解除できます。

消音中はランプが図のように点滅します。



その他のボタンによる操作は無効です。

[タッチパネル]



① 音量 (-) ボタン

② 音量 (+) ボタン

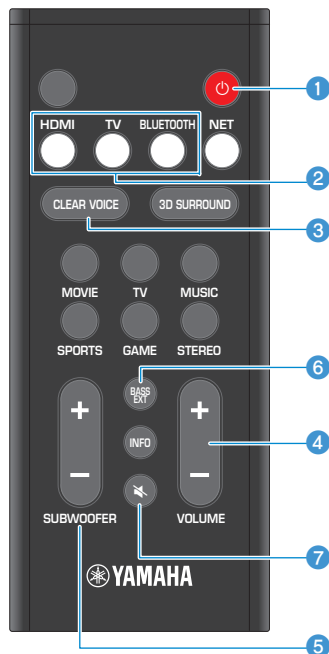
スピーカーの音量を調節できます。

その他のボタンによる操作は無効です。

Education モード

お知らせ

常に再生方法がステレオ再生に設定されます。



[リモコン]

① 電源ボタン

本機の電源をオン / オフできます。
オンにすると STATUS ランプが消灯し、オフにすると赤く点灯します。

② 入力元設定ボタン

- **HDMI ボタン** : (HDMI IN 端子に接続した) コンピューターや AV 機器を音声信号の入力元に設定できます。
- **TV ボタン** : テレビを音声信号の入力元に設定できます。
- **BLUETOOTH ボタン** : Bluetooth 対応機器を音声信号の入力元に設定できます。詳細は 26 ページをお読みください。

③ CLEAR VOICE ボタン

クリアボイス機能 (セリフやナレーションなど、人の声を聞き取りやすくして再生させる機能) を有効 / 無効にできます。

4 VOLUME (+) ボタン、VOLUME (-) ボタン

スピーカーの音量を調節できます。
調節中に点灯するランプの数で音量を確認できます。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

5 SUBWOOFER (+) ボタン、SUBWOOFER (-) ボタン

サブウーファアの音量を調節できます。
調節中に点灯するランプの種類で音量を確認できます。



音量が下がる (-)

音量が上がる (+)

6 BASS EXT ボタン

バスエクステンション機能（低音を増強して再生させる機能）を有効 / 無効にできます。
無効から有効になるときはランプが図のように3回、有効から無効になるときは1回点滅します。



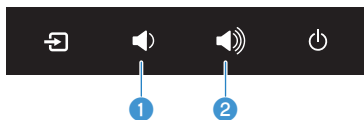
7 消音ボタン

スピーカーとサブウーファアの音声を消音できます。また、消音を解除できます。
消音中はランプが図のように点滅します。



その他のボタンによる操作は無効です。

[タッチパネル]



① 音量 (-) ボタン

② 音量 (+) ボタン

スピーカーの音量を調節できます。

その他のボタンによる操作は無効です。

その他の機能

本機をテレビのリモコンで操作する

HDMI コントロール機能（HDMI ケーブルで接続した本機とテレビをリンクさせる機能）により、本機をテレビのリモコンで操作できます。

[例]

- 本機の電源をテレビのリモコンでオン / オフする
- 音声信号の入力元をテレビのリモコンで設定する
- 音声を出力するスピーカーをテレビのリモコンで設定する
- スピーカーの音量をテレビのリモコンで調節する

お知らせ

機能の詳細はテレビやリモコンの種類によって異なります。

なお、HDMI コントロール機能は次の手順で有効 / 無効にできます。

1. リモコンの電源ボタンを押して本機の電源をオフにする

2. リモコンのボタンを次の順に押す

“MUSIC ボタンを 1 回” > “VOLUME (－) ボタンを 2 回”
> “消音ボタンを 1 回”

本機の電源がオンになります。

3. リモコンの電源ボタンを押して本機の電源をオフにする

4. リモコンの HDMI ボタンを 5 秒以上長押しする

無効から有効になるときは HDMI ランプが点灯します。有効から無効になるときは、どのランプも点灯しません。

手順は以上です。切り替えが完了すると本機の電源がオンになります。

重要

切り替えが完了したとき、本機はモードが解除された状態になっています。16 ページに記載の手順でモードを設定し直してください。

お知らせ

- HDMI コントロール機能が有効のときは無効のときよりも本機の待機消費電力が大きくなります。
- HDMI コントロール機能と Bluetooth スタンバイ機能（28 ページに記載）がどちらも無効のときは本機の電源をオフにしても STATUS ランプが点灯しません。

Bluetooth® 対応機器を接続する

本機が Hotel モード /Education モードのときは次の手順で本機と Bluetooth対応機器 (スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなど) を接続できます。

1. リモコンの BLUETOOTH ボタンを押す

BLUETOOTH ランプが点滅します。

2. Bluetooth 対応機器の Bluetooth 機能を有効にする

Bluetooth 対応機器の画面に接続可能な周辺機器のリストが表示されます。

3. リストから「ESB-1090 XXXXXX Bluetooth」(XXXXXX は Bluetooth のアドレスに依存) を選択する

本機と Bluetooth 対応機器がペアリングされ、接続されます。

手順は以上です。接続が完了すると BLUETOOTH ランプが点灯します。

設定をお買い上げ時点の状態に戻す

手順は次のとおりです。

1. リモコンの電源ボタンを押して本機の電源をオフにする

2. タッチパネルの音量 (+) ボタンにタッチしたまま、電源ボタンにもタッチする

すべてのランプが点滅し、設定のリセットが実行されます。

手順は以上です。設定のリセットが完了すると本機の電源がオンになります。

付録

本機はモードを解除した状態でも使用できます。

モードを解除する

手順は次のとおりです。

1. リモコンの電源ボタンを押して本機の電源をオフにする
2. リモコンのボタンを下記の順に押す
“MUSIC ボタンを 1 回” > “VOLUME (-) ボタンを 2 回”
> “消音ボタンを 1 回”

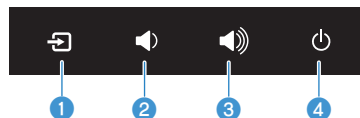
手順は以上です。解除が完了すると本機の電源がオンになります。

モードを解除したときの機能

[リモコン]

Hotel モードと同様です。

[タッチパネル]



- 1 **入力元設定ボタン**
音声信号の入力元を設定できます。
- 2 **音量 (-) ボタン**
- 3 **音量 (+) ボタン**
スピーカーの音量を調節できます。
- 4 **電源ボタン**
本機の電源をオン / オフできます。

[自動スタンバイ機能]

自動スタンバイ機能（本機の電源を自動でオフにする機能）を使用できます。この機能が有効のとき、次のどちらかの条件が満たされると本機の電源が自動でオフになります。

- ・ 本機が操作されないまま 8 時間が経過
- ・ 本機が操作されないまま、かつ本機への音声信号の入力がないまま 10 分間が経過

なお、自動スタンバイ機能は次の手順で有効 / 無効にできます。

1. 本機の電源をオフにする

2. タッチパネルの入力元設定ボタンにタッチしたまま、電源ボタンにも 5 秒以上タッチする

有効から無効になるときは CLR VOICE ランプが点灯します。
無効から有効になるときは、どのランプも点灯しません。

手順は以上です。切り替えが完了すると本機の電源がオンになります。

[Bluetooth スタンバイ機能]

Bluetooth スタンバイ機能（本機を Bluetooth 対応機器で操作する機能）を使用できます。この機能が有効のときは次の手順で本機の電源をオンにできます。

1. (ペアリング済みの) Bluetooth 対応機器の Bluetooth 機能を有効にする

Bluetooth 対応機器の画面に接続可能な周辺機器のリストが表示されます。

2. リストから「ESB-1090 XXXXXX Bluetooth」（XXXXXX は Bluetooth のアドレスに依存）を選択する

手順は以上です。本機の電源がオンになります。

なお、Bluetooth スタンバイ機能は次の手順で有効 / 無効にできます。

1. 本機の電源をオフにする

2. リモコンの SPORTS ボタンを 5 秒以上長押しする

無効から有効になるときは Bluetooth ランプが点灯します。
有効から無効になるときは、どのランプも点灯しません。

手順は以上です。切り替えが完了すると本機の電源がオンになります。

お知らせ

- Bluetooth スタンバイ機能が有効のときは無効のときよりも本機の待機消費電力が大きくなります。
- Bluetooth スタンバイ機能と HDMI コントロール機能（25 ページに記載）がどちらも無効のときは本機の電源をオフにしても STATUS ランプが点灯しません。

仕様

本書は発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

主な仕様

一般仕様

ドライバー	<ul style="list-style-type: none">・フロント L/R： 5.5 cm コーン ×2・ツイーター： 2.5 cm ドーム ×2・サブウーファー： 7.5 cm コーン ×2
実用最大出力 (非同時駆動、JEITA)	<ul style="list-style-type: none">・フロント L/R： 30 W ×2・サブウーファー： 60 W
電源電圧	AC 100 V ~ 120 V、50/60 Hz
消費電力	30 W (定格)
待機消費電力	<ul style="list-style-type: none">・HDMI コントロール機能が無効、かつ Bluetooth スタンバイ機能が無効のとき：0.2 W・HDMI コントロール機能が無効、かつ Bluetooth スタンバイ機能が有効のとき：1.7 W・HDMI コントロール機能が有効、かつ Bluetooth スタンバイ機能が無効のとき：0.6 W・HDMI コントロール機能が有効、かつ Bluetooth スタンバイ機能が有効のとき：2.2 W
最大音量	Max SPL：96 dB at 1 m
再生周波数帯域	<ul style="list-style-type: none">・フロント L/R： 170 Hz ~ 22,000 Hz・ツイーター： 5,000 Hz ~ 23,000 Hz・サブウーファー： 62 Hz ~ 170 Hz
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	<ul style="list-style-type: none">・テレビ台などに設置する場合： 890 mm × 53 mm × 131 mm・壁に設置する場合 (スペーサーを含む)： 890 mm × 131 mm × 62 mm
質量	3.4 kg

動作環境	<ul style="list-style-type: none"> • 温度：5℃～40℃ • 湿度：30%～90%（結露がないこと）
保管環境	<ul style="list-style-type: none"> • 温度：-20℃～60℃ • 湿度：30%～90%（結露がないこと）

デコーダー

対応音声信号 (HDMI/光デジタル)	<ul style="list-style-type: none"> • PCM (5.1 ch まで) • Dolby Digital (5.1 ch まで) • Dolby Pro Logic II (5.1 ch まで) • DTS Digital Surround (5.1 ch まで) • MPEG-2 AAC (5.1 ch まで)
------------------------	--

インターフェース

入力端子	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI： 1 (HDMI IN 端子) • 光デジタル： 1 (TV 端子)
出力端子	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI： 1 (HDMI OUT (ARC) 端子) • アナログ (RCA/モノラル)： 1 (SUBWOOFER OUT 端子)
その他の端子	<ul style="list-style-type: none"> • USB： 1 (UPDATE ONLY 端子) • Network (イーサネット)： 1 (NETWORK 端子)
Bluetooth	<ul style="list-style-type: none"> • バージョン： 4.2 • 対応プロファイル： A2DP • 対応コーデック： SBC、AAC • クラス： Bluetooth Class 2 • 見通し到達距離： 約 10 m • 対応コンテンツ保護： SCMS-T 方式
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> • イーサネット規格： 100BASE-TX/10BASE-T

対応している HDMI 映像 / 音声信号フォーマット

映像信号	<ul style="list-style-type: none">• Deep Color• x.v.Color• 3D 映像信号• High Dynamic Range (HDR) 映像信号 : HDR10、HLG
解像度	<ul style="list-style-type: none">• VGA• 480i/60 Hz• 480p/60 Hz• 576i/50 Hz• 576p/50 Hz• 720p/60 Hz、50 Hz• 1080i/60 Hz、50 Hz• 1080p/60 Hz、50 Hz、30 Hz、25 Hz、24 Hz• 4K/60 Hz、50 Hz、30 Hz、25 Hz、24 Hz
音声信号	<ul style="list-style-type: none">• 2 チャンネルリニア PCM : 2 ch、32 kHz ~ 192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit• マルチチャンネルリニア PCM : 6 ch、32 kHz ~ 192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit• ビットストリーム : Dolby Digital、DTS Digital Surround、MPEG-2 AAC
著作権保護規格	HDCP 2.3

対応している デジタル音声信号フォーマット

HDMI (ARC)	<ul style="list-style-type: none">• 2 チャンネルリニア PCM : 2 ch、32 kHz ~ 192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit• ビットストリーム : Dolby Digital、DTS Digital Surround、MPEG-2 AAC
光デジタル	<ul style="list-style-type: none">• 2 チャンネルリニア PCM : 2 ch、32 kHz ~ 192 kHz、16 bit/20 bit/24 bit• ビットストリーム : Dolby Digital、DTS Digital Surround、MPEG-2 AAC

Yamaha Global Site

U.S.A. and Canada

<https://uc.yamaha.com/>

Other countries

<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads

U.S.A. and Canada

<https://uc.yamaha.com/support/>

Other countries

<https://download.yamaha.com/>

© 2021 Yamaha Corporation

2022年9月発行

IPOD-B0